

## 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

2015年中のアディマーク社により行われた調査によるとサンティアゴ市の体感危険指数は38.9パーセント（昨年43.5パーセント）に減少しましたが、未だ犯罪被害に遭っていない人で今後犯罪に遭うと危険を感じている人は17パーセント（昨年9パーセント）と上昇しています。また、2015年1月から11月までの昨年比は、破壊窃盗（ATM機爆破等）はマイナス59パーセントと大きく減少しましたが、ひったくり24パーセント、殺人事件4パーセント増加しています。

去年は、上記のように破壊窃盗（ATM機爆破等）が大きく減少しましたが、ポルトナソ（駐車場前で門が開くのを待っている者からの車両強盗）が増加するなど犯罪者は他の新しい手口に移行しており治安が改善している状況とは言えません。

## 2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

（1）2015年10月14日（水）午前9時頃、ビーニャデルマル市内の銀行開店時に銃器を所持した複数名の強盗が押し入り162,000,000ペソを奪い逃走した。その間約3分間であり組織的な犯行であった。

（2）10月14日（水）午後17時27分頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区のショッピングモールの宝石店に3人組の銃器を所持した強盗が押し入り、商品を持ち去り逃走した。

（3）10月23日（金）午後9時頃、サンティアゴ市ロ・バルネチエア区の元同区長宅に4人組の強盗が押し入り、元区長を縛り上げ殴るなどし約1時間に及び物色した後逃走した。

（4）10月27日（月）午前9時頃、ラ・アラウカニア市において高額現金輸送車が走行中、道路に樹木が横倒しにされていたところで8人組の覆面をした武装強盗に襲撃され、警備員の銃及び現金43,000,000ペソを奪い逃走した。

（5）10月26日（月）深夜、サンティアゴ市プロビデンシア区において車両強盗があった際、同所付近に居住する国家警察軍将軍が悲鳴を聞きつけ犯人に発砲して犯人の内1名が死亡した。

（6）11月12日（木）午後8時43分頃、サンティアゴ市プロビデンシア区の薬局に2人組の銃を所持した強盗が押し入ったが駆けつけた警察官と撃ち合いとなり車両に乗って逃走した。追跡した白バイに衝突して停車したところで再度撃ち合いとなり犯人2名とも射殺された。警察官1名及び流れ弾に当たったバスの乗客1名が負傷した。警察によれば強盗は事前情報を得ていたと発表した。

（7）11月13日（金）深夜、サンティアゴ市ラス・コンデス区の被害者宅前で駐車場の門が開くのを待っていた車両が強盗に奪われた（ポルトナソ）。奪われた車両内にはチャイルドシートに4歳の子供が乗っていたが、3キロ離れた先

で樹木に衝突した犯人を逮捕し、子供は無事に保護された。

(8) 11月29日(日)午前11時25分頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区のショッピングモールの宝石店に4人組の覆面をした強盗が押し入った。2分後に到着した警察と撃ち合いとなり犯人の1名が死亡したが、他の犯人はマキビシを使用して車両で逃走した。

(9) 12月1日(火)午後7時頃、サンティアゴ市郊外のサン・カルロス・デアポキンド地区の家に盗難車に乗った少年3人組(15歳2人、16歳1人)が窓を割って押し入った。被害者は浴室に避難して警察に通報し、駆けつけた警察により犯人は逮捕された。

(10) 12月10日(木)午後9時30分頃、サンティアゴ市ビタクラ区の自宅前で門が開くのを待っていた被害者夫婦が銃と棍棒を所持した6人組の若者に殴られ車を奪われた(ポルトナソ)後、自宅にも侵入され家財を奪われた。家にいた娘が隠れて警察に通報したが、ビタクラ区安全課警備員(銃の所持無し)は到着したにもかかわらず警察の到着が遅れ犯人は逃走した。

また、12日にも同様の手口でラス・コンデス区の病院の地下駐車場で車が奪われた。警察は同一犯行グループと見ている。

(11) 12月17日(木)午後2時45分頃、サンティアゴ市センターにある店舗でPDI(刑事警察庁)の夫婦が買い物中、5人組の強盗が侵入してきた。同警察官が犯人を説得したところ、店からipadのみ奪って逃走した。追跡した同警察官と道路で撃ち合いとなり、警察官が胸に被弾して死亡した。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 2015年10月29日(木)深夜、サンティアゴ市サン・ミゲル区の第12警察署付近で黒色火薬が詰まった消火器爆弾が発見された。

(2) 11月6日(金)深夜、サンティアゴ市サンティアゴ区を走行中のバスが15人の覆面をした集団に襲撃され、強制的に下車させた後火炎瓶等を使用しバスを放火した。付近からアナーキストの服役者を支援するビラが見つかった。

(3) 11月19日(木)午前3時30分頃、サンティアゴ市サン・ミゲル区に所在する刑務官下士官養成学校の外で爆弾が爆発した。犯人二人はその後逮捕されたが、警察は以前からアナーキストの爆弾容疑で両名をマークしていた。

(4) 12月23日(水)夜、サンティアゴ市エスタシオン・セントラル区に所在する民間航空局技術学校と気象庁が入った建物が火炎瓶や爆発物により襲撃された。

### 4 主な邦人被害

(1) 10月16日(金)から18日(日)までの間、邦人男性が利用しているキャッシュカードの銀行から一日の限度額を3日連続で引き出されていた。本人

がキャッシュカードを利用したのは7月であったため、どこかのATM機を利用したときにスキミング被害にあったと見られる。

(2) 10月18日(日)深夜、邦人企業事務所の1階正門の鉄製ドアのシリンダー錠2個をバールのようなもので取り外し、内側ドアの錠前はピッキングにより解錠されて侵入され、パソコンや現金等を盗難に遭った。

(3) いくつかの邦人宅に日本の振り込め詐欺と同じような手口の電話があった。

① 10月23日(金)深夜、邦人宅に娘を装い「ママー」と大声で泣きながら電話がかかってきたが、スペイン語であったので間違いですと言って電話を切った。

② 10月24日(土)、「娘を誘拐した。お金を払わないと殺す。」と電話があり、娘はいないと答えると電話が切れた。

③ 10月26日(月)午前中、カラビネーロ(警察)と名乗る男から電話があり、人定等を聴取しようとしたり、交通事故があった等の言動があったが、スペイン語がわからないので弁護士から連絡させると言ったところ電話が切れた。

(4) 11月5日(木)午後8時30分頃、邦人男性がAlonso de Cordova通りを帰宅途中、街路樹の下を歩いているときに上から液体が落ちてきたので、鳥の糞が落ちてきたと思い拭こうとしたところチリ人男性が拭くのを手伝うと言って近寄ってきた。リュックサックを地面に下ろして拭きとっていたところ、手伝っていた男性に気をとられている隙にリュックサックが盗まれていた。

(5) 12月8日(火)午前7時頃、邦人男性がサンティアゴ市のバスターミナルでバスを待っていたところ男から液体をかけられ、気を取られている間に旅券等在中のカバンを盗難に遭った。

(6) 12月15日(月)午後9時頃、在留邦人男性がサンティアゴ市ペドロ・デ・バルディビアのレストランで、隣の座席の上に旅券、ノートパソコン等在中のバッグを置いて友人と食事中、気が付いたらバッグを盗られていた。